

2021年度(令和3年度)新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

|    | 好き    | やや好き  | やや嫌い | 嫌い   |
|----|-------|-------|------|------|
| 男子 | 54.12 | 37.65 | 4.71 | 3.53 |
| 女子 | 57.47 | 29.89 | 8.05 | 4.60 |

体育の授業は楽しいですか

|    | 楽しい   | やや楽しい | やや楽しくない | 楽しくない |
|----|-------|-------|---------|-------|
| 男子 | 74.12 | 20.00 | 4.71    | 1.18  |
| 女子 | 70.11 | 24.14 | 5.75    | 0.00  |

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

|    | 週に3日以上 | 週に1~2日くらい | 月に1~3日くらい | しない  |
|----|--------|-----------|-----------|------|
| 男子 | 34.12  | 41.18     | 21.18     | 3.53 |
| 女子 | 33.33  | 43.68     | 18.39     | 4.60 |

体力・運動能力(第5学年)

|    | 握力    | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび  | ボール投げ | 体力合計点 |    | 握力    | 上体起こし | 長座体前屈 | 反復横とび | 20mシャトルラン | 50m走 | 立ち幅とび  | ボール投げ | 体力合計点 |
|----|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|-------|-------|----|-------|-------|-------|-------|-----------|------|--------|-------|-------|
| 男子 | 17.33 | 21.08 | 34.62 | 42.96 | 51.20     | 9.15 | 169.49 | 22.06 | 58.06 | 女子 | 18.02 | 19.15 | 36.74 | 39.71 | 39.29     | 9.54 | 165.48 | 14.05 | 58.13 |

県平均値(R3)かつ全国平均値(R2)未滿

重点課題および要因

情意面

・体育の授業が「やや楽しくない」「楽しくない」と答えた児童の割合が11.6%である。  
 ・運動やスポーツをすることが「やや嫌い」「嫌い」と答えた児童の割合が20.8%である。  
 ・運動やスポーツを「しない」と答えた児童の割合が8.1%であり、過去3年間の傾向として約17%の児童が月に1回も運動をしていない実態がある。

体力面

・男子女子共に「反復横跳び」と「ボール投げ」の記録が県平均値かつ全国平均値を下回っている。  
 ・「反復横跳び」は、過去3年間男女ともに県平均値かつ全国平均値を下回っており、「ボール投げ」は、男子の過去3年間の記録が県平均値かつ全国平均値を下回って

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

・各学年ごとに単元に身につけたい動きとそのための前段運動を考え、ワークシートを作成し、授業の中で実施する。  
 系統性や効果的な動きであったかについて振り返り、来年度の取り組みにつなげる。  
 ・各学期に位置付けられた「体づくり運動」の授業の中で、敏捷性や投力の向上につながる遊びや運動を重点的に行う。

体育の授業以外で行う取組内容

・学校行事として、年に2回クラス対抗「大縄大会」を開催し、縄をタイミングよく跳ぶためのコツを各クラスで話し合いながら練習できるようにする。  
 1回目の記録をどれだけ上回ることができたかで競うようにし、体力の向上を実感できるようにする。  
 ・「敏捷性」と「投力」の向上につながる遊びを体育委員会の児童が中心になって考え、月に1回のペースで各クラスに体育館が解放される時間を使って、体力アップにつながる運動を紹介する。

2022年度(R4年度)の重点目標値

- 運動やスポーツをすることが「好き」と答える児童の割合が80%を上回るようにする。
- 「反復横跳び」と「ボール投げ」のどちらかで、県平均値を上回るようにする。